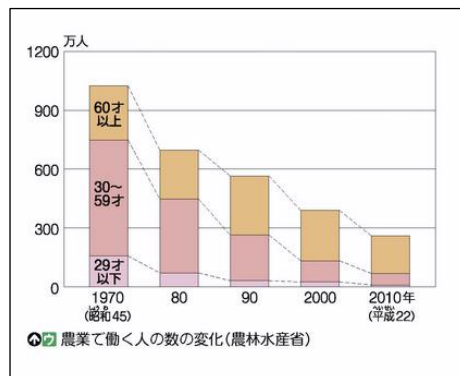


1 資料読解のためのワークシート開発の意図

これまでも述べてきたことであるが、小学校社会科教科書には複数の教科書に掲載されている重要資料が存在する。それらは授業における中心資料にも関わらず、読解方法は定型化していない。また、教師自身も資料をどのような視点から読解したらよいか不明の場合がある。そのため本来身に付けるべき情報活用技能が十分ではない実態があると考えられる。

今回示す「資料読解ワークシートの開発」がその解決のための一つの方法である。これは、重要資料に関わる読解の視点をワークシート上で示し、学習者が作業をしながら、資料に表れている情報を読み取ったり整理したりする技能と社会的な見方・考え方を身に付けるものである。教員にとっては、資料読解の指導法改善に結び付く効果が期待される。

2019 年度に東北学院大学と教育出版株式会社および株式会社教育同人社は、上記の内容について「情報活用技能と社会的な見方・考え方を育てる小学校社会科教科書と図書教材を活用した資料読解ワークシートの開発および指導資料（活用ナビ）の作成」をテーマとして、共同研究に取り組んだ。今回はこの研究について述べる。



2 ワークシートの特徴について

図1が、作成した5年生のワークシート例である（「米づくりがかかえる課題」）。

いくつか特徴を示そう。

①教科書の資料をそのまま使っている

教科書会社との共同研究であるから、教科書の資料をそのまま活用した。

②本時の中心資料を対象にしている

教科書の1単位時間分（見開き2ページ）には複数の資料が掲載されているが、そのうちの中心となる資料の読解に的を絞っている。1時間丸ごと使うワークシートではなく、右の例は20分程度を想定している。

5年生

2-1 米づくりのさかんな地域
米づくりがかかえる課題 (P76～P77)

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのような影響をあたえているか考える。

②【基本】グラフの題・出典を読もう。

縦軸は ()

横軸は ()

③【基本】米の消費量と生産量は、それぞれどのように変化していますか。
※ヒント「全体としては?」「年ごとの上下は?」

④【ポイント】米の消費量と生産量を比べて気づいたことは何ですか。(消費量と生産量の関係)

⑤なぜそのようなことになったのか、理由を教科書から見つけよう。

⑥これから米の消費量と生産量はどのようになるか予想しよう。

⑦米づくりにどのような影響があるのか話し合おう。

⑧米の消費量と生産量はどのように変化しているのか、米づくりにどのような影響をあたえているのかノートにまとめよう。

©社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト 2020

図1 作成したワークシート例

③読解のための基本項目と中心的な問いを明示している

資料を読解するためには、資料そのものの基本項目（題や、グラフであれば縦軸や横軸が何を表しているか）と、本時のねらいに迫るための「中心的な問い」が不可欠である。それらを問いの形で明示した。また、「まとめ」に至るための項目も記載し、ワークシートを学習者のナビゲート役と位置づけ、資料読解を学習の流れに沿ったものにした。

④学習者が自学で活用する場面も想定した

学習者が自学として活用する場面を想定し、以下の点にも留意した。

- ・本時のねらいを学習者も自覚できるように予め記す
- ・資料読解のための基本的な視点と読解のために重要な視点を【基本】と【ポイント】として示し、学習者が読解のための視点を自ら学ぶことができるようにする。
- ・「まとめ」は基本的には学習者自身が理解した内容を書くようにするが、見方・考え方の育成を意図して、必要に応じて自分の考えをノートに書く項目も準備する。

このような考えのもと、2020 年から使用される新教科書の内容について、資料読解ワークシートを第 5 学年 20 本、第 6 学年 20 本作成した。

3 活用ナビの作成について

今回作成した資料読解ワークシートは、広く多くの教室で使ってほしい教材である。そのためには、担任がワークシートを効果的に活用するための資料（活用ナビ）を作成する必要があると考えた。それが図 2 の「活用ナビ」である。

5 年-6
2-1 米づくりのさかんな地域 米づくりがかかえる課題 P76～P77

活用ナビ

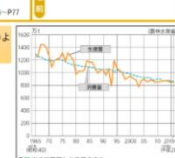
- ①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているか考える。
- ②●題、出典を読みましょう。
●縦軸・横軸は何か、書きましょう。
※題から「変化」を調べることを押さえる。
- ③●米の消費量と生産量はどのように変化しているでしょうか。
全体的にどうなっているでしょうか。
年ごとにどうなっているでしょうか。
- ④●消費量と生産量を比べて気づいたことは何でしょうか。
※理由も考えさせる。
- ⑤●なぜ、そのようなことになったのか、教科書から理由を見つけましょう。
※本文だけではなく、グラフからも考察させる。
- ⑥●これから消費量と生産量はどのようにになると予想されますか。
※予想を米作りへの影響に結びつける。
- ⑦●ノートにまとめを書きましょう。
※ねらいに対応したまとめにするために、変化と影響の視点を指示する。

2-1 米づくりのさかんな地域
米づくりがかかえる課題

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているか考える。

②【基本】グラフの題・出典を読む。

縦軸は（米の消費量と生産量）
横軸は（年）



③【基本】米の消費量と生産量は、それぞれどのように変化していますか。
ヒント「全体としては？」「年ごとの上下は？」

- ・どちらも全体として少しずつ下がっている。
- ・生産量は年によって増えたり減ったりしている。
- ・消費量はほとんど下がっている。

④【ポイント】米の消費量と生産量を比べて気づいたことは何ですか。（消費量と生産量の関係）

- ・生産量が減ったから消費量も減ったと思う。
- ・消費量が減ったから、生産量も減らしているのだと思う。
- ・1980年ごろまでは生産量の方が多かったけど、95年ぐらいからは生産量の方が少なくなっている。

⑤なぜそのようなことになったのか、理由を教科書から見つけよう。

- ・米が余るようになって、稲の作付面積を減らした。（生産調整）
- ・ウのグラフのとおり、米の作付面積は減っている。
- ・エのグラフから、農業で働く人が減っていることも関係があると思う。

⑥これから消費量と生産量はどのようにになると予想しよう。

- ・ますます少なくなると思うから、対策が必要だと思う。

⑦米づくりにどのようなえいきょうがあるのか話し合おう。

米の消費量と生産量はどのように変化しているのか、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているのかノートにまとめよう。

©社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学 佐藤正寿、教育出版株式会社、株式会社教育同人社）2020
活用ナビ-1

図 2 活用ナビ

ここでは、「授業のねらい」「主な発問と留意点」「資料の読解方法」等の内容を記載した（図2では「資料の読解方法」は省略）。この活用ナビを授業者が参照すれば、ワークシート活用における発問・指示がすぐにわかるものとなっている。同じワークシートを使っても効果に差があることの一因に、教師の発問・指示の違いがあるのではないかと推測するが、このように活用ナビに記載することで、発問・指示がより適切なものになることを期待した。また、ワークシートの解答例も示し、「主な発問と留意点」と対応させた。

これらの他に、活用ナビに記載した「資料の読解方法」は、教科書に掲載されている資料をどのように教師が読み解いたらよいかを示したものである。授業で資料の読解を子どもたちに行わせる前に、教材研究として教師自身が資料を読解するであろうが、その具体的な手立てを示したものである。例として、活用ナビに示した「米の消費量と生産量の変化」の折れ線グラフについての記述を一部紹介する。

このグラフは、米の生産量と消費量が50年間にわたって全体的に減少し続けていることを示している。子どもたちが我が国の農業の課題を理解するために重要なグラフである。

その減り方はゆるやかであるものの、1965年と2016年の消費量を比べると約1300万tが約900万tと7割以下に減っている。生産量もほぼ同様である。この間、日本の総人口は約1億人から約1億2700万人と増えており、日本人が米を食べなくなったことが顕著に示されている。

（以下略）

このように「授業のねらい」「主な発問と留意点」「資料の読解方法」等の内容を記載した活用ナビは、日々多忙な教師の教材研究の一助となるとと思われる。

4 普及に向けて

ワークシートを開発した2019年度は、岩手県と東京都の小学校3校の計7学級で、効果の検証のためのワークシートを活用した授業を行った。

子どもたちにアンケートをとったところ、「ポイントやヒントが書いていてわかりやすい」、「基本がわかる」、「枠があって書きやすい」等、活用しやすいという声が大部分であった。また、教師からも「発問が活用ナビに書かれているので使いやすい」、「教材研究の方法がわかった」、「短時間で授業の準備ができた」等、プラスの声が聞かれた。むろん、「ここはこのようなした方がよい」という点も見つかり、授業の実施を経るごとにワークシートや活用ナビが改善されていった。

2020年度は、作成したワークシートを普及する年である。共同研究のプロジェクトのホームページに、資料読解ワークシートと活用ナビをダウンロードできるように掲載した。アクセスしてくだされば幸いである。

https://www.djn.co.jp/company/worksheet.html?fbclid=IwAR3Zf00qd5GLVsGfhw774ZuX1RuW_uzkG_vAAgBzKf3ra2mopenu4HN26xY

今年度はモニター校を設け、ワークシートセットのさらなる改善を図っていく予定である。